

平成23年6月16日(木)
 国土交通省関東地方整備局
 横浜国道事務所・京浜河川事務所

記者発表資料

災害対策用機器合同操作訓練の実施。

国土交通省 横浜国道事務所、京浜河川事務所では災害発生時、迅速に災害復旧を行うため災害対策用の機器を配備しています。

災害時の緊急対応に備えるため、職員、地方自治体及び災害協定会社による合同の「災害対策用機器操作訓練」を平成7年度より実施しており、平成23年度も訓練を実施します。

平成23年度災害対策用機器操作講習

配備された排水ポンプ車等の災害対策車両の設置及び操作講習、並びに衛星小型画像電送装置(Ku-SAT)の設営講習を実施し、災害時の緊急対応に備えます。

日 時：平成23年6月20日(月) 13:00～17:00(小雨決行)
 会 場：大師河原地区河川防災ステーション
 対象機器：①対策本部車、②待機支援車、③排水ポンプ車、④照明車
 ⑤衛星小型画像伝送装置



平成22年度実施状況

取材について 当日の訓練は、取材可能です。12:30より訓練会場にて受付を行っております。また、駐車も可能です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
 神奈川県政記者クラブ
 横浜市政記者会

神奈川建設記者会、
 横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局
 横浜国道事務所
 副 所 長 たきなみ しんいち 瀧浪 慎一
 管理第二課長 かねこ ふみお 金子 文夫
 電話045-311-2981(代表)

国土交通省関東地方整備局
 京浜河川事務所
 工物品質管理官 おさない たけいつ 長内 武逸
 管 理 課 長 いしかわ たけひこ 石川 武彦
 電話045-503-4000(代表)

対象機器写真（1）



【対策本部車】

この車輛は、災害現場で現地対策本部として、指揮、連絡、会議等に使用されます。
運転席後ろの架装部分が、左右に広がる拡幅構造となっており、拡幅した時は約20㎡の広さがあります。



【東日本大震災時に宮城県岩沼市にて使用】

【排水ポンプ車】

この車輛は、洪水時に湛水した水を、河川に排水する目的で使用されます。
訓練で使用しますポンプ車は、1分間に30tonの水を排水する能力があります。
同様の機能を持つ車輛が、東日本大震災発生時に、津波で冠水した仙台空港の排水で使用されました。



【国道246号にて、緊急作業で使用】

【照明車】

この車輛は、夜間や荒天時に災害復旧作業が容易に行えるよう、現場作業に必要な明るさを確保する目的で使用されます。
同様の機能を持つ車輛が、東日本大震災発生時に、排水作業の現場で使用されました。

対象機器写真（2）



【東日本大震災時に宮城県石巻市にて使用】

【待機支援車】

この車両は、災害現場に派遣された職員等の、休息・仮眠スペースとして最前線に設置されて使用されます。

この車両は、東日本大震災発生時に、現地作業員の休息用で使用されました。

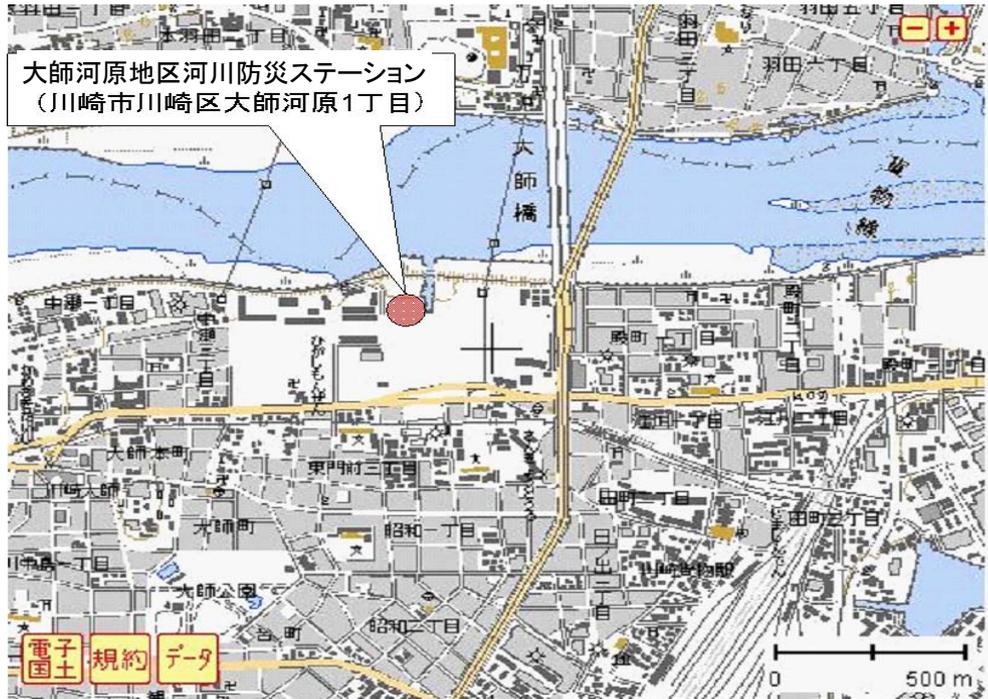


【衛星小型画像電送装置】

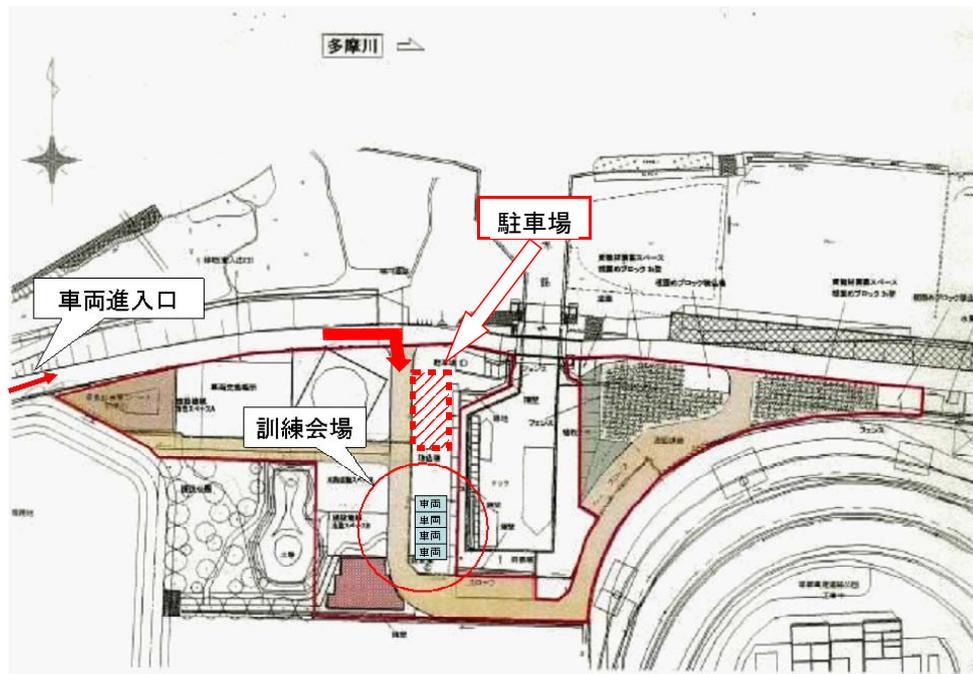
この機器は、災害に強い衛星通信回線を使用し、現場で撮影された画像の送信等に使用されます。

この機器は、東日本大震災発生時に、被災現場の情報収集で使用されました。

会場案内図



(会場周辺図)



(防災ステーション平面図)

参加予定組織

国土交通省

京浜河川事務所
相模川水系広域ダム管理事務所
京浜港湾事務所
東京湾口航路事務所

川崎国道事務所
横浜営繕事務所
横浜港湾空港技術調査事務所
横浜国道事務所

地方自治体

神奈川県県土整備局
川崎市建設緑政局

横浜市消防局
相模原市都市建設局

その他

国土交通省災害協会社